

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と 地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 7月20日 2011-2012年度事業計画
7月27日 研究会報告

VOL. 49 No.2(通算No. 2283)

2011年7月13(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

2011-2012年度

各委員会事業計画発表



2011-2012 年度

大塚令昌(よしまさ)会長

斎藤広巳幹事

2011-2012年度

会長 大塚令昌

幹事 斎藤広巳

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.1 (No.2282) 7月6日(水)晴れ (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会長・幹事年頭のあいさつ

襷の引き継ぎ



白井前会長より大塚新会長へ



大塚前幹事より斎藤新幹事へ

記念品の贈呈



大塚新会長から白井前会長へ



斎藤幹事より大塚前幹事へ

誕生祝



《会員》石塚克己会員 瀬戸隆海会員 北村 仁会員 島田 勝会員 鈴木邦彦会員 山牟田博会員
五木田利明会員

《配偶者》青木(清)会員 北村(陽)会員

THE WEEKLY REPORT

諸 報 告

50周年実行委員会 青木清人副実行委員長

各委員会の組織(案)(別紙)を皆様にお配りしました。

また、7月中に総務委員会と渉外委員会の会議を開催したいと思います。後ほどご連絡致します。

雑誌委員会 瀬戸隆海委員長

ロータリーの友7月号記事の紹介を致します。

横書き P1 「友事務所」法人化後の課題 P5 RI会長メッセージ P48 「陸前高田で被災後、初めての例会」

縦組み P2～ 世界に誇る日本の伝統文化
ご一読頂ければと思います。

幹 事 報 告

斎藤広巳幹事

週報受理クラブ 藤代RC

例会変更通知 なし



2011-12年度の幹事を務めることとなりました。

クラブ幹事要覧には、「最も重要な役割はクラブが効果的に機能するよう援助することです。」とあります。この役割を果たすため会員の皆様のご指導ご協力を賜りながら、幹事としての責務を果たしていきたいと思っております。何とぞ一年間よろしくお願い申し上げます。

会 長 挨 拶

大塚令昌会長



新年度会長方針の前に一言御礼を申し上げます。6月29日の移動例会には多くの会員のご出席のもと2010-2011年度が滞りなく終了致しました事厚く御礼申し上げます。

それでは2011-2012年度に向かって会長方針をのべさせて戴きます。まずは東日本大震災被災者に対し心からお見舞い申し上げ一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2011-2012年度国際ロータリー、カルヤン・パネルジー会長は次の目標は 自分自身を見つめ直すこととし、最優先事項として次の標語を上げられました。

「**「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」**

“Reach Within to Embrace Humanity”

このテーマの中、次の三つの強調事項をあげられました。1,家族 2,継続 3 変化です。

第1の家族は、万事家族から始まりあらゆる家族の中心を成しているのが母と子によって人々の生活や地域社会全体を通じ世界を良くしていく事が出来るのです。

第2の継続は、何事も継続し次のレベルアップと高めていく事です。

第3の変化は、子供の死亡率を感じ識字率を高め飢えを減らし、まず自分に変化を起こす事の必要性を認識にしなければならないとあげております。

また、本年度の大木ガバナーの方針、地区目標9項目が述べられました。1、環境問題 2、変革と合理化 3、会長賞とチェンジメーカー賞 4、各クラブのサポートの強化 5、ポリオ感染の消失 6、大陸を渡り国際奉仕の輪 7、ロータリーの活動が地域社会への認知 8、財団・基金・米山奨学会への寄付への行

THE WEEKLY REPORT

動 9、東日本大震災からの復興の行動をしよう。

この度、ご指名を頂き2011-2012年度の会長の職を努めることになりました。私の前に沢山の方々が会長職をお受け頂けねばならない中、私が先に会長を務めることははなはだ恐縮に存じます。これも年齢かなと考えているところです。現在76歳、年度内には77歳の喜寿となります。頭と体がちぐはぐなお年頃ですと言いながら、無我夢中で会計、そして幹事をこの二年間勤めさせて戴きましたが、皆様にとってははがゆい事があったのではないかと今になって感じているところであります。

今後、会長と言う重責を担うにあたり、水海道ロータリークラブを49年間築き支えていただいた諸先輩の名を汚さぬよう努力してまいり所存で御座いますので、宜しくご協力、そしてご指導と助言の程お願い申し上げます。

今年度の私の提言と致しまして、次の言葉を掲げさせて戴きました。

「相互の理解と 地域とのつながり」です。

この言葉は、如何に会員の皆様と少しでも多くの会話ができるかが課題です。一人一人との会話をする機会はありますが、例会の前の少ない時間が本当に大切な時間になるのではないかと私は感じ、この時間が有意義な時間と考えられ、そこに意志の疎通が出来、退会の防止に繋がるものと考えております。また、地域とのつながりについては、地域の皆様に水海道ロータリークラブの活動を知って戴く為には、市民との会話が必要です。会話を持つ為に、市民団体との話し合いを作りたいと考えております。

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メイク	出席率
56名	45名	11名	0名	11名	100.00%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 ¥189,000 累計 ¥189,000

誕生祝御礼《会員》鈴木(邦)・北村(仁)・島田・瀬戸・山牟田・五木田(利)・石塚(克) 各会員

《配偶者》青木(清)・北村(陽) 各会員

2011-2012年度宜しくお願い申し上げます。 大塚会員

今年度幹事を務めます。皆様ご協力よろしく願い申し上げます。 斎藤会員

新年度例会、おめでとうございます。 青木(正)会員

大塚会長、斎藤幹事、一年間頑張ってください。応援しています。また今年度会計を担当させて頂きます。どうぞ宜しくお願いします。 石塚(克)会員

一年間ありがとうございました。大塚年度ご期待申し上げます。 白井会員

大塚・斎藤年度のスタートおめでとう。発展を祈念いたしております。 松坂会員

大塚・斎藤年度を祝して。 鈴木(邦)会員

大塚会長、斎藤幹事、一年間頑張ってください。 田上会員

大塚年度、宜しくお願い致します。 小島・草間・石塚(幸) 各会員

本年度も宜しくお願い申し上げます。 青木(全)・横山・熊谷・古矢 各会員

大塚会長、斎藤幹事、おめでとうございます。 長塚会員

大塚・斎藤年度、宜しくお願いします。 青木(清)・鈴木(勝) 各会員

大塚会長年度、頑張りましょう。 秋田会員

今年もよろしくお祈りします。 染谷(秀)・武藤・倉持 各会員

今年度ロータリー財団を担当することになりました。ご指導ご協力、宜しくお願い致します。 島田会員

大塚・斎藤年度のロータリー情報委員会をどうぞよろしくお祈り致します。 海老原会員

本年度雑誌委員会をよろしくお祈りします。 瀬戸会員

大塚会長、斎藤幹事、一年間頑張ってください。プログラム委員会宜しくお願いします。 染谷(正)会員

THE WEEKLY REPORT

大塚会長、斎藤幹事、お世話になります。頑張ってください。 大串会員
大塚・斎藤年度、ご指導宜しくお願い致します。 松村会員
大塚会長、斎藤幹事、一年間宜しく申し上げます。 五木田(益)会員 和久事務局
厚さが続きます。体調管理に気をつけましょう。 門協会員
一年間宜しく申し上げます。 登坂会員
大塚年度米山記念奨学会委員を務めさせていただきます。 亀崎会員
大塚さん、一年宜しく申し上げます。 鈴木(茂)会員
目の前に用紙があったので。 山崎会員
新例会年度宜しく申し上げます。 五木田(裕)会員
その他 砂長会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

石塚幸一郎委員

家族、継続、変化

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないのでしょうか。私たちの世界をもっと幸せで、もっと健康的で、そして、もっと平和にすることができ、そして私たちの奉仕活動を通じてより良い世の中をつくることのできる、と私たちは信じています。

自分を見つめ直す

2011-12年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために (Reach Within to Embrace Humanity)」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、どこに住んでいようと、私たちが皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。他の人々のニーズが自分たちの思いと同じだということを私たちが理解し、本当にそう思えるようになれば、私たちの活動がどれほど重要なことかを理解し始めるのです。今年度は、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に力を注いでいきたいと思っています。



全てが「家族」から始まる

今年度の第一の強調事項は、「家族」です。家族と家庭は私たちの活動の核となるものです。私たちの奉仕活動も全てここから始まります。そして、家族を通して私たちは地域社会に、さらには会員全員がお互いにいたわり合う広い意味での家族のように、人類全体と接点を持っているのです。うれしいとき、手を差し伸べてもらいたいとき、一人ぼっちの人は誰もいません。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは、自らの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べ、さ

THE WEEKLY REPORT

らに努力を重ねなければなりません。もちろん、私たちの最大の責務は、今、成功にあと少しのところまできたポリオ・プラスです。

友情と親善を分かち合い、倫理的に誠実に

第三の強調事項は「変化」です。真の変化とは、一人ひとりからしか始まることはなく、自らの内面から始めるものであるということを、私たちは理解しなければなりません。平和は、もし自らが与えようとしなければ、他の人と分かち合うことはできません。私たちの家族、クラブ、地域社会といった私たちに身近なものを大切にしなければ、世界中を大切にすることはできません。

マハトマ K. ガンジーは「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」と言いました。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親睦を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並みのことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織だからです。その代わりとして、私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようとするのは、このためなのです。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」。平和、調和、友情、私たちは変化を、そして、さらに喜びのある世界を築いていくことでしょ。

KALYAN BANERJEE
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2010 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp

ツウンバ交換学生オリエンテーション

平成23年7月9日(土)

